

語り部の経営者たち

ジャーナリスト 田中幾太郎

はせがわ長谷川房生会長 67歳

① まれからどっと 増えていくんです

あどけない少女が「おてのしわとしわを合わせて幸せ」と合掌するCMでお馴染みの「はせがわ」仏壇最大手の同社は業界では唯一、東証1部に上場。近年は墓石事業や葬儀サポート業にも参入し、3兆円近いとされる供養マーケットのリーダー的存在になっている。

今年で創業85年。創業家のDNAを受け継ぎ、08年から3代目の社長を務めていたのが長谷川房生氏。今年6月、会長に就任した。

長谷川氏は終戦翌年の46年11月、福岡県直方市で創業者・長谷川才蔵氏の次男として生まれた。

「団塊の世代のはしりですね。8月以前に生まれた同級生は少ないんですが、9月生

「花子とアン」に登場した炭鉱の町で生まれ育った



生まれ育った直方市は筑豊地方の北端に位置する。筑豊といえば、9月まで放送していたNHK連続テレビ小説「花子とアン」に登場した炭

記に新しいが……。記憶に新しいが……。「あの方は隣の飯塚市。こちらの直方市にはさらにスケールの大きい貝島太助という炭鉱王がいた。貝島さんはとくに亡くなっていましたが、私が幼いころはまだ、すごい活気があった。うちの商店の裏通り側は花柳界で、立派な料亭が6軒すらすらと並び、そ

の前を華やかな衣装に身を包んだ芸者さんたちがゾロゾロと歩いていた」

長谷川少年にとっては目の毒だったかもしれない。今の東京・新宿のように何時になっても明かりが消えない不夜城だった。

「料亭だけでなく、屋台もたくさん出ていて、連夜ドンチヤン騒ぎ。炭鉱に入れば、生

きて帰れるかどうか分からない炭鉱員さんたちは、宵越しの力ネは持たないという人が多かった」

そんな環境にあったからだろう。間違った道に迷いこんではいけないとばかり、父は息子を厳しくしつけた。

「軍隊に2回行って父は兵隊さんと同じやり方で子ど

にも対した。何か悪いことをするとすぐに殴るんです。それも往復ビンタで。とにかく怖かった」

長谷川家は代々続く庄屋の一族だったが、父・才蔵氏の少年時代は決して恵まれたものではなかった。6歳で父、10歳で母を亡くし、いばらの道に放り込まれることになっ

東映↓テラ↓はせがわ↓ロイヤル↓サイボクハム

語り部の経営者たち

ジャーナリスト 田中幾太郎

はせがわ長谷川房生会長 67歳

「行商では体を売っていた時、隣のベ

れしてしまっただけです」
2年間の文通を経て、
才蔵氏はタツさんにプロ
ポーズ。そのままゴール
インした。

「母は一言でいえば、豪
傑」でした。酒もたばこ
もやる。まったく飲まな
い父に代わって、外回り
は全部、母が担当してい
た。料亭に行つて踊つた

り、うちに税務署や警察
の人が来れば、酒を酌み
交わし、相撲まで取つて
いた。なんと、男たちが
母のほろが強かった」

学校の入学式には6歳上
の兄が付き添いで来た。
同級生の中に生意気なの
がいたんで、兄から「あ
いつとケンカしてこい」
と言われ、やつつけた。

以来、一目置かれるよう
になり、クラスで「長谷
川」と呼び捨てにされた
ことがないんです」

長谷川房生氏が「とに
かく働き者だった」と語
る。父・才蔵氏は1929
年、22歳の時に奉公先か
ら独立。福岡県直方市に
長谷川仏具店を創業し
た。第1次大戦後の恐慌
が地方にも暗い影を落と
していた時代だ
った。

「店を開けて
も、まったく売
れず、しょうが
ないので自分の
田舎に行商に出
かけるんですが、仏壇を
買う余裕がある家庭な
ど、ほとんどなかった。
しばらくするとハードワ
ークがたたり、父は血を
吐いてしまっただけです」
結核だった。症状はそ
れほど重篤なものではな
かったものの、あまり無
理はできなくなった。

「行商では体を
売っていた時、隣のベ
っ甲屋で売り子をしてい
たのがタツさんだった。
「それまで父は38回も縁
談を持ち込まれながら、
全部断つている。露天商
の親分からうちの娘をも
らつてくれと言われたこ
ともあつたらしい。愛嬌
があつて元気がいっぱい
働く母を見て父は一目惚
れした。」

「戦時中はお坊さんも戦
争に行つた。母は残され
た奥さんたちの慰問に回
つていたんです。一升瓶
と三味線を持つてお寺に
行き、一緒に飲んで踊つ
た。面倒見が良くて、姉
御肌なんです」

酒もたばこも相撲もやる とにかく豪傑な母親の 気性を受け継いだ

「戦時中はお坊さんも戦
争に行つた。母は残され
た奥さんたちの慰問に回
つていたんです。一升瓶
と三味線を持つてお寺に
行き、一緒に飲んで踊つ
た。面倒見が良くて、姉
御肌なんです」

左端が母タツさん。父親に抱かれる房生氏(写真中央)



東映
↓テラ
↓はせがわ
↓ロイヤル
↓サイボクハム

(つづく)

語り部の経営者たち

ジャーナリスト 田中幾太郎

はせがわ長谷川房生会長 67歳

③

中学までは福岡県直

父親よりさらに怖い

れ、おい房生、走る い心だったんです」「酒もたばこもやって アルバイトを始めた。 いい関係になりそうな 子がいたんです。結 局、失恋してしまいま したが」

方市の地元の学校に通 存在が、休みになると 帰ってくる6歳上の兄 ん」と鉄拳制裁がく

止まってハアハアやっ ていると、根性が足り 校は今でこそ進学校と して知られるが、当時

瓶を2本ぶら下げて先 生の家を訪ね、一緒に 飲んだこともある。か 「オマエ、うちの組に 入る気はないか」と言 われた。慌てて断り、 ヨッキングな出来事が 起る。親しくしてい た友人から「長谷川、オ マエ仮面をかぶってい るぞ」と言われたのだ。 以前から、自分にそう したところがあるのを うすうす感じていた。 一商店で育ち、演技す るクセがついていた。 劣等感もあった。当時、 商店街で大きいのは呉 服屋、金物屋、瀬戸物 屋など。仏壇屋なんて

立校に進んだ。鳥越俊 弟、堀江貴文らを輩出 した久留米大学付設高 校である。「とにかく 親元を離れたかった」

「朝早くに叩き起さ 環境から早く逃れた を務める長谷川氏だ

が、在校中はか 高校3年の2学期に ずいというやく気づ マエ仮面をかぶってい るぞ」と言われたのだ。 以前から、自分にそう したところがあるのを うすうす感じていた。 一商店で育ち、演技す るクセがついていた。 劣等感もあった。当時、 商店街で大きいのは呉 服屋、金物屋、瀬戸物 屋など。仏壇屋なんて

「家にいると手伝いば かりさせられ、父から いちいち指導が入る。 荷物の解き方、商品の 仕分け、保管の仕方」

「酒もたばこもやって アルバイトを始めた。 いい関係になりそうな 子がいたんです。結 局、失恋してしまいま したが」

が、在校中はか 高校3年の2学期に ずいというやく気づ マエ仮面をかぶってい るぞ」と言われたのだ。 以前から、自分にそう したところがあるのを うすうす感じていた。 一商店で育ち、演技す るクセがついていた。 劣等感もあった。当時、 商店街で大きいのは呉 服屋、金物屋、瀬戸物 屋など。仏壇屋なんて

で腰が入っていないと 怒られた。仕事では殿 られなかつたけど、サ ボってよそで遊んで帰 ってきたりすると平手 打ち。気が短いです」

「酒もたばこもやって アルバイトを始めた。 いい関係になりそうな 子がいたんです。結 局、失恋してしまいま したが」

が、在校中はか 高校3年の2学期に ずいというやく気づ マエ仮面をかぶってい るぞ」と言われたのだ。 以前から、自分にそう したところがあるのを うすうす感じていた。 一商店で育ち、演技す るクセがついていた。 劣等感もあった。当時、 商店街で大きいのは呉 服屋、金物屋、瀬戸物 屋など。仏壇屋なんて

「家に入ると手伝いば かりさせられ、父から いちいち指導が入る。 荷物の解き方、商品の 仕分け、保管の仕方」

「酒もたばこもやって アルバイトを始めた。 いい関係になりそうな 子がいたんです。結 局、失恋してしまいま したが」

が、在校中はか 高校3年の2学期に ずいというやく気づ マエ仮面をかぶってい るぞ」と言われたのだ。 以前から、自分にそう したところがあるのを うすうす感じていた。 一商店で育ち、演技す るクセがついていた。 劣等感もあった。当時、 商店街で大きいのは呉 服屋、金物屋、瀬戸物 屋など。仏壇屋なんて

「家に入ると手伝いば かりさせられ、父から いちいち指導が入る。 荷物の解き方、商品の 仕分け、保管の仕方」

「酒もたばこもやって アルバイトを始めた。 いい関係になりそうな 子がいたんです。結 局、失恋してしまいま したが」

が、在校中はか 高校3年の2学期に ずいというやく気づ マエ仮面をかぶってい るぞ」と言われたのだ。 以前から、自分にそう したところがあるのを うすうす感じていた。 一商店で育ち、演技す るクセがついていた。 劣等感もあった。当時、 商店街で大きいのは呉 服屋、金物屋、瀬戸物 屋など。仏壇屋なんて



大学では失恋も経験

1浪して早大政経学部へ滑り込む

しかし、高校の成績 もともと、地頭は 悲慘なものだった。 入学した時は学年で4 番だった成績が、卒業 時には最下位まで落ち ている。東京の国立大 試験では12万人中12位 だった。1浪して早稲 田大学政経学部に入 格。学園紛争の嵐が吹

東映テラはせがわロイヤルサイボクハム

（つづく）

語り部の経営者たち

ジャーナリスト 田中幾太郎

はせがわ 長谷川 房生 会長
67歳

④

早稲田大では仏教青年会と雄弁会に入っていた。

仏教青年会は1886年、雄弁会は1902年に発足。同大で1番目と2番目に古いサークルである。数多くの政治家を輩出してきた雄弁会だが、長谷川氏は友人に「仮面をかぶっている」と指摘されてから顔を出さなくなった。くだらなく思えてきたからだ。

「仮面を外そうと思っても、かぶっていない自分かわからないんです。とりあえず、今までの自分をやめようと考えた。私がこれまで人に認められるために身につけてきたものも含め何もかも全部を捨てた。雄弁会だって、その人たちに認められたいから入った。けれど、これからは他人の

大学5年生で結婚、6年で妻が妊娠



目など関係なく、自身が納得できる自分にならなければいけないと……。愛読書もすべて、古本屋に売っ払ってしまいました。

早稲田には結局、6年間の。1年の終わりで60単位が残っていた。当時からバリエードストライクで学校が閉鎖になり、仏教青年会の部屋で麻雀ばかりやっていた。

卒業する気もなかった。卒業する気もなかった。卒業する気もなかった。

「仮面をかぶっているうちに、そういう仲間になっ

た。それで結婚式もちゃんと挙げるんですが、それの際、妻の父から卒業条件だと言われたんです。6年の時、全部で17科目60単位が残っていた。当時、試験はなく、単位を付与はすべてレポート提出によって行われた。学生といえども、家庭をのりまわすみは見事、失敗

「ハセガワの次がハヤシどころにもなかった。1浪

並んでいた。先生は2人怒。林が母親に頼んで買

「おもしろそうじゃないか」と言ってくれ、潜り

「おもしろそうじゃないか」と言ってくれ、潜り

文系では同社が大学生の人気ナンバーワン企業だった。後で知りました。引かれたいの高さ。他の会社の初任給が3万円ぐらいたった。富士ゼロックスに入ると、大阪第一営業所に配属された。行ってみると、面接官だった教育課長がいた。この課長も大それた人だった。入社1年目に同営業所は売上高全国トップを打ち立てた。

東映テラはせがわロイヤルサイボクハム

語り部の経営者たち

ジャーナリスト 田中幾太郎

はせがわ 長谷川 房生 会長 67歳 ⑤



2012年には東証2部に上場(翌年、東証1部へ指定替え)

配属先の大阪第1営をかぶって、鏡の前で業所が富士ゼロックス 笑顔の練習をしていた。妻は今でもあのこ

なり、そのご褒美で所るのことを思い出して 員全員で香港に行っ

た。「すべてが楽しかった。でも、そうしうと考えていた。いつ

も新人社員もみんな燃えていた」

だが、富士ゼロックスにはわずか2年間しかいなかった。74年、長谷川氏は福岡に戻った。

福岡に帰るかの問題だったんですが、早まったのは、はせがわが想像以上のスピードで大きくなり、それに体制とで苦勞をしていく中、感じたからです」

当時、父・才蔵氏が、社内の反発を生んでいたんです。すぐにやめていく社員も少な

くなかった」

サラリーマン経験がない 専務だった兄は人と組織を動かすことに苦勞していた

長谷川氏が富士ゼロックス在籍中の2年目、氏は才蔵氏に「このま

に、兄が社員たちからまじや、会社がおかし団体交渉を要求され交渉している耳に入った。だが、返ってきた言葉

た。心配になり福岡へは意外なものだった。戻ってみると、まさに「房生、心配するな。兄は交渉の真っ最中で

あった。大変なことに潰さんよ」と、事もな生懸命、売りまくって

東映↓テラ↓はせがわ↓ロイヤル↓サイボクハム

(C)11/12

語り部の経営者たち

ジャーナリスト 田中幾太郎

はせがわ 長谷川 房生 会長 67歳

⑥

妻の故郷・奄美大島で、しかに完璧な文章ではないが、初めて肉親の愛を知った父・才蔵氏。これを境に生き方が大きく変わった。

「しきりに『親の恩』を口にするようになる。義母を奄美から福岡に呼び寄せ、一生懸命、親孝行をするんです」

躍進の原動力となった 仏壇業界初の訪問販売



業界で訪問販売が行われた。亡くなった方に心なかつたかというところ、相手を合わせる。その手から嫌われるからで、人に不幸を商売にするとは何事かと。そんなことが許される時代ではないと、だれもが思い込んでいた。けれど、兄は仏教系の大学を出たばかりで、仏壇屋としてやるべきことがあると考えた。裕一氏は猪突猛進のタイプだった。一度決めたら、真つすぐに突き進むのが常だったが、この時ばかりは押しとどめようとする者がほとんどだった。だが、父・才蔵氏は「内部のことは経理を除く頭ごなしに反対するようになどはしなかった。長谷川家が懇意にしている寺の住職に相談するようになり、裕一氏に言った。住職がまず話したところに行くんだから相当、腹を決めなさい」といって、富士ゼロックスのサラリーマン経験

もうひとつ変わったことがある。仏壇の仕事に携わる思いを『しおり』にしたためるようになったのだ。その内容は仏を敬うこと、親子の絆、先祖から受け継がれていく神の「信用本位」を浸透させるのに大きな役割を果たし、真摯な企業イメージが定着した。

「しおり」の言葉を手ラシに刷って、新聞の折り込み広告に使うと、すぐに評判を呼んだ。はせがわだ、長谷川氏は話す。悪の労災事故といわれた。この時、長谷川氏は高校2年、兄・裕一氏は大学を卒業し、はせがわ入社1年目だった。

「しおり」の言葉を手ラシに刷って、新聞の折り込み広告に使うと、すぐに評判を呼んだ。はせがわだ、長谷川氏は話す。悪の労災事故といわれた。この時、長谷川氏は高校2年、兄・裕一氏は大学を卒業し、はせがわ入社1年目だった。

「文章に自信がない父は、小学校4年生の私におかしいところがあったら直せというんです。た

そのきっかけは63年11月、福岡県大牟田市で起った三井三池炭鉱の炭

東映 ↓ テラ ↓ はせがわ ↓ ロイヤル ↓ サイボクハム

(つづく)

語り部の経営者たち

ジャーナリスト 田中幾太郎

はせがわ長谷川房生会長 67歳

⑦

1929年に福岡県出。仏壇業界では2番直方市で産声を上げた手を大きく引き離すトはせがわは、その後順ツブ企業に上り詰め調に業績を伸ばし、70た。

不動産投資に失敗

すべてが順風満帆というわけが、90年代以降は最初はフランチャイ

モチはモチ屋で 供養ビジネスに本業回帰

結局、はせがわはホムセンター事業から撤退を決める。単に人材不足の問題だけでなく、他業種に予算を割くだけの余裕がなくなっていたのだ。その一因は同社が94年から海外で進めて急成長するアジアな

けにはいかなかった。度程度のノウハウを得る程度、1社を買収しての成長が止まって、他事業に本格的に参入し業種への進出を図るんだ。

「バブル崩壊後、本業の成長が止まって、他事業に本格的に参入し業種への進出を図るんだ。」

「利益はそこそこ出たが当時、伸びていたホムセンター。でも、望が見えなかった。こ

る程度、1社を買収しての成長が止まって、他事業に本格的に参入し業種への進出を図るんだ。」

「利益はそこそこ出たが当時、伸びていたホムセンター。でも、望が見えなかった。こ



「利益はそこそこ出たが当時、伸びていたホムセンター。でも、望が見えなかった。こ

人手をかけるに大きな利益が見込めるとの誘い文句と世間の風潮に乗ってしまった」

「主な投資先は中国、ベトナム、ミャンマー、欧州の植民地だったベトナムやミャンマー

は契約に関してはしっかりと見込んでいた。中国はそうではなかった。なかなか契約の書類は出さないし、

「あまりに未熟だったムセンターの時とは違

「あまりに未熟だったムセンターの時とは違

東映テラはせがわロイヤルサイボクハム

来週月曜から「ロイヤル」菊地唯夫社長

(おわり)